

平成24年度 事務事業評価シート（平成23年度実績分）

事務事業名		子宮頸がん予防ワクチン接種事業費		部課コード	1404	予算事業科目	010402050150	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	健康福祉部		部長名(2次評価者)		舩田 郁男		個別事務	全部	010402050150	-	
	担当部署	健康づくり課		所属長名(1次評価者)		村上 和子						
	電話番号	823-9436		E-mail	kc-140400@city.kochi.lg.jp							

1 事業の位置付け

予算科目(平成24年度)		高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け										
会計	01 一般会計	大綱	02 安心の環	政策基本方針	乳幼児から高齢者まで誰もが健やかに暮らせる環境をめざして、市民の健康づくりを支援するとともに、地域の医療体制の充実に取り組みます。また、感染症のまん延防止や食品の安全確保に向けた対策など、保健・衛生の向上に努めるとともに、生命や健康の安全を脅かす健康危機に対して迅速かつ適切に対応できる体制づくりを進めます。さらに、消費生活における安全安心を確保するために、地域との連携も含めた総合的な消費者行政を推進し、消費者の被害防止及び権利の尊重・自立支援に取り組みます。							
款	04 衛生費	政策	03 安全安心の生活環境づくり									
項	02 保健所費	施策	01 生涯にわたる心身の健康づくり支援									
目	05 予防費	区分	06 予防接種の推進									

2 事業の根拠・性格

		法定受託事務
法律・政令・省令	平成22年度厚生労働省の「円高・デフレ対応のための緊急総合対策関連」事業のうち、医療分野「疾病対策の推進」	
県条例・規則・要綱等	日本一の健康長寿県構想	
市条例・規則・要綱等	高知市子宮頸がん等ワクチン接種事業実施要綱	
その他(計画、覚書等)		

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	平成23年度中学1年生、平成22年度中学1年から高校3年生までの女子	
意図	どのような状態にしていくのか	予防接種の接種率を上げ、子宮頸がんを予防する	
手段	事業実施体制等	対象者に予診票を送付し、一人3回医療機関にて個別接種。任意の予防接種	事業開始年度 平成22年度(23年1月～) 事業終了年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	(1)個別通知:対象者 中学1年生 1,571 人 (2)平成22年度の事業対象者及び医療機関に平成23年度事業に関する周知 (3)医療機関への支払い事務を委託している国保連合会より請求をうけ支払う (4)補助率:国1/2、県単独補助2/3	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	予防接種接種率	中学1年生女子の接種者数の増加を、接種率の向上により判断することができる
	B		
	C		

4 事業の実績等

			21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	予防接種接種率			70.0%	80.00%	H22年度はH23年1月～3月の実績	
		目標						
	B	実績		26.0%	75.7%			
		目標						
	C	実績						
		目標						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)		10,923	292,027	89,947	事業費増が見込まれるため補正予定	
		財源内訳	国費 (千円)		3,676	97,163		37,654
			県費 (千円)		2,896	58,903		5,796
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	0	4,351	135,961		46,497
	翌年度への繰越額 (千円)		0	0				
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	0	7,200	7,200	7,400		
		正規職員 (千円)	0	7,200	7,200	7,400		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)		1.00	1.00	1.00		
		正規職員 (人)		1.00	1.00	1.00		
		その他 (人)						
総コスト= ① + ② (千円)		0	18,123	299,227	97,347			
市民1人当たりコスト (円)		0	53	886		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		339,714	339,130	337,875				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

予防接種と検診で子宮頸がんによる死亡を減らすことができる。
子宮頸がん予防ワクチンの接種勧奨をとおして、子宮頸がん検診の啓発を実施している。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 24 年 8 月 31 日）

評価項目		評価基準	1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	5.0	予防接種は、感染症のまん延を防止することが目的であり、安心安全な社会づくりに直結している。また、健康志向の高まりにより、子宮頸がんの予防に係る市民ニーズは増加している。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	A		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	3.0	感染症を撲滅するためには、100%の接種率が求められることになるが、任意の予防接種という位置づけであるため、積極的な接種勧奨を実施していないにもかかわらず、目標を上回る実績が得られており、概ね順調な成果であると評価できる。現在、国において予防接種法に基づく定期の予防接種への移行が予定されており、移行後における積極的な接種勧奨等の事業成果向上の取組みが必要である。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	4.0	直営による集団接種ではなく、委託医療機関における個別接種の方式を採用しており、アウトソーシングについては実施済である。今後、定期の予防接種となった際に、他の定期の予防接種との連携等、事業実施面での工夫が必要となる。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	任意という位置づけではあるが、予防接種という趣旨からして、個人のみならず社会全体が受益者となっている。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合 点	17.0	総合 評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 24 年 9 月 6 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	一次評価と同じ
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項